氏 名 (学校名)	太田 清人 (創価大学)	国 (希望する体験)		·一シア 紫体 験)	企画テーマ	発展真っ只中の多様な国マレーシア で世界に貢献する人材に		
受入れ党	UNLOCK DESIGN	期間	8月1日	~8月31日	担当者	山口 聖三		
日付			日付	体験日誌				
8月2日	今日はインターン初日でした。緊張した気持ちで行きましたが社員の地元の人たちや同じインターン生が明るく受け入れてくれたので良い初日にすることができました。初日はゴール設定をしました。その中で「なりたい自分」「身に付けたいスキル」また「短期間で身につけたいスキルをどのようにすれば身こつけられるか」について自分のなかで深めることができました。そのなかでヶ月の中の短期間での具体的な目標を定めることができました。また、自分の学びたいマーケティングや営業についてもこれから学んでいけそうなのでとてもこれからのインターン生活が楽しみになる1日になりました。また、この企業が作ったマレーシアの雑誌を読み今まで知らなかったマレーシアについてたくさん知ることができました。			今日はインターン開始から6日目でした。今日私が学んだことは 仕事や今後の成長において知的好奇心がすごく大事であるとい うことを学びました。それを感じたのは社長や先輩方と一緒にい るときに自分とは見ているところが違ったり、常に思考していたり する場面がなんども見る事ができたからです。興味を持ち、調べ る、インプットする、またアウトプットする問う事がすごく大事であ るという事がわかりました。				
	今日はインターン開始から2日目でした。今日ただき、マレーシアにある創価幼稚園に行かた。私が初めてマレーシアに来た時も創価幼ただき教育を学ばせていただきました。今回き多くのことを学ばせていただきました。インういったことに対しても社長は学びがあるとまだきました。	せていただきま 」稚園に行かせ [・] も訪問させてい ターンだけでは	Eし てい ただ なくこ 8月12日	休日				
8月6日	今日はインターンかしから3日目でした。今日 務に携わらせていただくことになりました。今 作業が始まりました。最初はなかなか進まずが結果60社のリストアップをする事ができま長に時間を計ったり、自分のリストアップのスるなどして、仕事をどう効率的に行っていくかことを教わりました。	日からリストアッドに戸惑っていました。そのかな にピードを測った	ップの Eした で社 りす ^{8月13日}	開いていただきパ	ワポのうまい(要なパワポの)	目でした。今日はワークショップを 使い方について学ぶ事ができまし スキルについて学ぶ事ができた		
8月7日	今日はインターン開始から4日目でした。今日と同じリストアップの続きでした、しかしその司に送る機会ありそのなかで上司へのメーノて指導していただきました。メールの送りかたも数悟空大切になっていくことなので今回の学ぶ事ができて良かったです。	りなかでメールを レの送りかたに cは社会に出て	を上 つい から	クショップを行って	いただきました まのスキルや	目でした。今日はエクセルのワーた。学校の授業では習わないよう社会人として使える技術も学ぶ事間でした。		
8月8日	今日はインターン開始から5日目でした。今月は同じでしたがその中でリストアップが行きまが、先輩に観点を変えていく事が大事と教わえてまた、リストアップするとさらに多くの企業き、何事においても視点を変えるという事がう事がわかりました。	tまってきていま り自分の視点を きを見つける事だ	ミした 上変 がで	上げの担当をして 残っています。それ	いる上司の方 ኂは人材業は	分が関わっている人材業の立ちに言われた事がとても印象に人の人生を背負っているという事そこを思うとさらにやる気を出す		
受入れ先担当者のコメント	新しい環境で慣れない業務を実直にやりこな タッフにもポジティブに影響しており、大変素 ンスを発揮しました。一見単純な業務にとられ も、前向きに自分になりに整理して結果をだ 晴らしいと高く評価しています。	晴らしいパフォ <mark>-</mark> oれる作業に対	ーマ 受入れ先 担当者の	しいと思います。し 強みや課題を見る	へろんな業務に 機会になった こ視野を持ちて	及収しようとするマインドが素晴ら -携わるなかで、客観的に自分の かと思います。高い成長曲線を マレーシアの滞在価値をさらに高		
1週間の 感想と 今後の目標	今週1週間は自分いとっては環境が大きく変であった1週間でした。いつもの環境と全く違対にしないような仕事をして、すごく変化を感しかし私はこの変化こそ人を大きく成長させるます。なので1週間をしっかりたいせつに過こます。	う海外でいつも じたい1週間でし るものであると思	は絶した。 1週間の 感想と	そこに慣れが生	じてしまった	いぶ慣れてきました。しかし、 さらに価値を想像した仕事 ました。		

氏 名 (学校名	太田清人 (創価大学)	国 (希望する体験)	マレーシア (就業体験)			企画テーマ	発展真っ只中の多様な国マレーシア で世界に貢献する人材に	
受入れダ	t UNLOCK DESIGN	期間	8	3月1日~	~8月31日	担当者	山口 聖三	
日付	体験日誌		E	日付	体験日誌			
8月16日	今日はインターン開始から11日目でした。今はなくパートナーのリストアップをさせていただけたことは自分の視野を広くしたり、観点を変よってさらに多くの企業を見つける事ができたは本当に見えかたまで変わっていくのだと思分で工夫してどんどん面白くやっていきたい。	だきました。そこ えたりすること とりし、考え方と いました。なの	こで感 :に 欠第で	月23日	業を回りました。今日あり、実際の海外の比で働くためにはさらに感じる事ができましたは営業などで人と話し	の中で実際にロジネスの営業の ジネスの営業の プレゼンカや英 。この営業を生っ て関わっていこ	た。今日は営業最終日として三社の企一カルの企業への営業をする機会が りばを見る事ができました。自分が海外 語力を向上させていく必要があることを で見れる出張を通して感じたことは自分 とこは自分に合っているなと感じる事が ・学ぶ」ことができてよかったです。	
8月19日	今日はインターン開始から12日でした。やって同じことの繰り返しになってきいまい、仕事てしまうようになってしまいました。しかし、そところ、仕事をこなすのではなく価値創造してが大事であるということを教えていただきましストアップをするのではなく、その中で価値をて見てみたり、その企業から発展して調べての情報を増やしていく事が大事であるという。	がつまらないとれを先輩に相談 れを先輩に相談 仕事を行ってした。ただ、企業 創造して観点を みたりなどして	と感じ 談した いく事 きのリ ^{8月} き変え 自分	月26日	の大詰めとして一張の時に回っら企かることになりましかったとしても理解	週間をスタート 業様との営業 た。議事録も なできるような	目でした。残り一週間となり最後 する事ができました。今日は出 にお議事録を作る作業に取り掛 これを見た人がその場にいな 議事録を作るべしとの社長から かけつつ取り組む事ができまし	
8月20日	今日はインターン開始から13日目でした。今てきた電話を実際の企業にかけてみるという際の企業にかけていく中で、自分の声の大き信をもって話すことによって、しっかり相手にを伝える事ができる事がわかりました。またうやっていく中でご案内医をしていくがなかなか企業が全くいなくてテレマーケティングの難しました。	ことになりまし さや、はっきり 自分の伝えたい テレマーケティン へそれに関心を	た。実 と自 ハこと ングを ^{8月} :持つ	月27日	のメール作成とfacebo た。今回が初めてのす が、先輩に英語でメー ただき、また新たにい く中で、社会人としてく ても必要になると言れ 行けばそんなことはな	ookに投稿する原 を語の文章を書ぐ ・ルを書くときのり 識を身につけるの か上司に対しての かれました。私はま いと思っていましまっている なと聞いてこのイ	た。今日はイベントの参加者へのお礼 取稿を考える仕事をさせていただきましく 業務であったので結構苦戦しました レールや、メールの書き方を教えてい 事ができました。また、社長と話してい り気の使い方や配慮などはどこに行っ こういうのが大嫌いだったので外資に したが外資に行っても上司に対しての ンターンで多くのことを学ぶ事ができた	
8月21日	今日はインターン開始から14日目でした。今に行かせていただくことになり、インドネシアでました。この出張は今度インドネシアで行う予業としていくものでした。初日から2社の企業ていただき生の営業を実際に見る事ができまについてしっかりと調べ、営業に臨んでいく事事を学びました。	のジャカルタに を定のイベントの 回りに連れて行 こした。その中で	行き の営 fかせ で相手 8月		お礼メールを送りなりました。また、てその企業のスポ	きり、まだ残っ その議事録を ンサーについ	目でした。今日は昨日の続きのていた議事録を書いていくことにまいていく中でプラスの情報として調べてみたりとエ夫しようにっていける事がわかりました。	
8月22日	今日はインターン開始から15日目、また出張も昨日に引き続き三社に営業しに行きました事前にその企業についてと会う相手について業に臨みました。また、同じグループで回って輩の行動から多くのことを学ぶ事ができまし社長と同じグループで先輩はすべてのことを動している姿や路地を担当している姿を見て動が必要であるということを学ぶ事ができまし	。今日もしっか 「リサーチした」 「いたインターン た。私のグルー 三歩先まで考 少しでも先を見	りと 上で営 ノの先 -プは ^{8月} え行	月29日	生活最終日でもあ もらいフィードバッ は信頼関係も大き 細かな情報までも 報までも相手が覚	りました。今日 クをいただきまく影響している 聞き入れ、二 えてくれていか いにもどうでも	目でした。また、私のインターン 日は議事録を社長にチェックして にした。その中で感じたことは営業 るということです。営業先の人の 回目会うときにすごいく細かな情 こら自分も嬉しいのと同じようしっ いいような情報までもしっかりメ ことを学びました。	
受入れ先 担当者の コメント	新規事業の立ち上げ業務や営業同行に携れ慣れな環境でも付加価値を提供するマインドプットにコミットする大切さを学んでもらえたと	や価値のある	アプト 担	入れ先 当者の 1メント	対しても作業プロー	セスを工夫しタ ることで、ひと	が一見単純作業かと思う業務に 対率を向上させたり、角度を変え こつひとつの仕事を真剣に取り組	
1週間の 感想と 今後の目標	今週は本当に学びの多い1週間でした。自分アの出張についていく決断をして生の営業をていただいたり社長を相手の企業のオフィス先を考えている先輩の行動から多くのことをでこんなインターンは他にないなと思いいくとに良かったなと思います。また、この二年生のインターンをするという他の同期ではしないよ月という短い期間ではありましたが経験でき	実際の目で見まで案内するこ まで案内するこ 学ぶ事ができ、 いう決断をして の時期に海外のこうな経験をこの	させ 三歩 改め ^{1退 ®} 三本当で D地で D1ヶ	週間の 惑想と 後の目標	は普通の業務にかれは社長が前職でどを教えていただしているコンサルに	「えてワークシ で学んだことや するものです。 ついてのワーク 様々な種類の	週間でした。このインターンシップ ョップを開いていただけます。そったEXCELやPPTなどのを技術な 今週は私が今一番興味に思っ クショップをしていただき、コンサ コンサルやコンサルの会社の営 ができました。	

総評

◆氏 名:<u>太田清人(創価大学)</u>

◆受け入れ先: <u>UNLOCK DESIGN</u>

◆企画テーマ:発展真っ只中の多様な国マレーシアで世界に貢

献する人材に

◆体 験 期 間:2019年8月1日~2019年8月31日

<感想>

私はこのインターンを通して大学生活では経験することのできないような経験をする事ができました。私がこのインターンで学んだことは社会の大変さ、実力の付け方、仕事の仕方、など様々なことを学ぶ事ができました。私は今回のインターンで仕事にどれだけ価値を見出してやることでとても充実した仕事にする事ができるということを学ぶ事ができました。私は最初人材事業のリストアップをさせていただきました。その作業が2週間くらい続く中で、とてもつまらないと感じた時も何回もありました。今思うとその時はやらされている業務になっていたのでつまらないと感じてしまったのだと思いました。また、こういうことは就職してからも絶対にあることであると思います。そのなかでどれだけその泥臭い仕事に価値を見出してやることでとても楽しい仕事にできるということがわかりました。また私は今回のインターンで人材事業に関わらせてもらう事ができ今まで全く興味のなかった業界だったけれど今回のインターンで人材業界にとても関心を持つようになり自分の進路の候補の1つとして新たに考える事ができました。そう思ったきっかけは私がお世話になっていた上司の人にリストアップをしているときに何度も言われた事が、今はリストアップという泥臭い仕事だけれどもこれが人の人生を変えるという視点に立って仕事をしてほしいということを何度も教えていただきました。その結果自分自身も高いモチベーションでやる事ができました。最後に私は世界で貢献できる人材はそういう人物かということを模索しにマレーシアのインターンに行きました。社長や自分がお世話になった上司の人の姿を見て、多くのことを得る事ができました。社会に出るまであと二年間あるのでしっかりと実力をつけ将来は必ずアジアで活躍していきます。

<受け入れ先コメント>

受入れ担当者: 山口聖三 役職: 代表取締役

一ヶ月と大変短い期間でしたがチームや会社に大きく貢献してくれました。マレーシアに来た当初は不慣れな環境や初めての業務に慣れるまで比較的難易度が低い作業を担当していただきました。環境に慣れてくると業務スピードもあがり成果がではじめ次第に業務の面白さを追求するようになったかと思います。ただどんな組織のリーダーでも末端な現場や泥臭い作業を経験しており、それを経験しているからこそ現場の大変さや効率などを理解できると思います。またどんな作業にも意味を創造し、仕事の全体像やどうすれば作業スピードが高まるか、どうすれば高いアプトットを出せるかなど思考することで、いま与えられた作業の価値が高めることができ、短期間で認められる人材になると認識しています。太田くんも試行錯誤しながら一見単純作業かと思う業務も付加価値を見出し自分の学びに落とし込む努力をしていました。このプロセスはどんな業務、どんな業界、どの国でも普遍的な要素であり、周りよりパフォーマンスを発揮するために不可欠なスキル・マインドかと理解しています。他にも近隣諸国への出張のアテンドやテレマーケティングに挑戦しました。最後は自分から提案する等短い期間に急成長したのはチーム全員が認めることです。最後に彼の姿勢や努力が現地のスタッフ含め他のインターンの学生にも大変影響しマネージメントメンバーも大変学びが多く、今回インターンとして受け入れたことを嬉しく思います。